

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園 洋光台	種別：保育所
代表者氏名：園長 入内嶋 忍	定員（利用人数）：80名
所在地：〒235-0045 神奈川県横浜市磯子区洋光台3-33-10	
TEL：045-370-9560	ホームページ： <a href="https://www.like-kn.co.jp/academy/">https://www.like-kn.co.jp/academy/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員： 8名
専門職員	（専門職の名称）
	看護師 1名
	栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数） 9室  （設備等）

## ③理念・基本方針

のびやかに育てだいちの芽

- ・保育方針みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛・めざす保育園像陽だまりのような保育園地域と共に育つ保育園子どもと共に輝いていける保育園

- ・保育目標

- ・自然を愛し、心身ともに健やかな子ども・自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども

- ・「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども・自己表現できる子ども

## ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・自然豊かな立地に恵まれ近隣に公園も多いため、積極的に散歩に出かけ四季折々の自然に触れる機会を十分にもっています。また近隣園との交流や小学校との連携もあり、就学への不安を減らすことに役立っていると思います。

- ・園児の様々な情報は毎日の短いミーティングの中で共有し、園長、主任はもちろんのこと、担任以外のどの職員でも園児全員の様子を把握するように心がけています。

- ・保育者との信頼関係の下、園児一人ひとりが自分を表現し、受け止めてもらい、自己肯定感を育てて行かれるように配慮しています。また相手を思いやったり友だちと協力してひとつのことを成し遂げる経験をし、達成感を味わえるように心掛けています。

- ・クラスごとに子どもの興味や発達に合った手作りおもちゃを考え作っています。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月17日（契約日） ～ 2021年3月29日（評価結果確定日）
--------	------------------------------------------

## ⑥総評

## ◇特に評価の高い点

## ・園で行っている保育の様々な取り組みを発信することに力を入れている

職員は自粛期間中に、子どもの発達に合わせたおもちゃ作りに力をいれ、出来上がったおもちゃの写真をはじめとして、絵本の紹介、手洗いの仕方など園での様々な取り組みについてもブログを通して多く発信することに力を入れた。写真でわかりやすく、家庭での子育てに役立つ内容となっており、新しい生活様式における一つの子育て支援情報として評価できる。

## ・子どもの目、保護者の目、他の職員はからどう見えているか、様々な視点で保育を振り返っている

今回実施した保護者アンケートにおいて、職員が出勤、退勤する際に必ず各教室を回って挨拶していることを素晴らしいと評価する声が聞かれている。職員の明るさ、子どもをあたたかく見守ってくれている、などの声も聞かれている。保護者の帰りを待つ子どもの気持ちに配慮しながら、様々な視点から保育を振り返り実践につなげている姿がうかがえる。

## ・子ども一人ひとりに寄り添い丁寧な保育を心がけている

子どもの人権を第一に考え、言葉遣いや声の大きさに配慮し適切であるように心がけており、職員全体に周知し取り組んでいる。また、行事においても日々の保育の延長線上と考えることで、準備などで子どもたちに過度な負担をかけるような内容にすることはなく、主役は子どもたちであることを忘れないようにするなど、一人ひとりに寄り添い個性を尊重し丁寧な保育を心がけている。

## ◇改善を求められる点

## ・保護者への連絡、通知方法について課題としている

今年度はコロナ禍にあり、懇談会や行事の中止などの現状において、保護者の意見や要望を直接聞くことのできる機会が少なくなっている。今回実施した保護者アンケートでは、様々な意見が寄せられており、毎日の送迎時は時間が少なく、また担任に直接会うことができない保護者もいることから、保護者への連絡、通知方法についてはさらに工夫が必要であり、課題としている。

## ・現況に合った避難マニュアルの整備に期待したい

園の立地上、浸水に対するリスクがあることを認識しており、避難訓練の際にも浸水を意識して行うように心がけている。各種マニュアルについては、本社作成の業務マニュアルが整備されており、職員に周知されているが、園として必要な内容についても職員が共通認識を持つために、必要事項をまとめ園独自のマニュアルも必要とされるため、整備することが期待される。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育の中で気づきがあっても、なかなか改善に向けての取り組みを行う時間が作れなかったり、見過ごしてしまうことも多い日常でした。

今回第三者評価を受けるにあたり、職員みんなで、ひとつひとつ立ち止まり考える時間をもち、この園の良さや課題が見えてきました。園内では時間をかけて話し合った結果でも、発信が不十分なために保護者には伝わりにくかったり、保育の内容や保護者対応に職員間で個人差があることも改めて知りました。また、振り返りはしていても、課

題を改善していく取り組みは行っていないこともわかりました。

これを機に必要なマニュアル作りや職員会議等で個人やクラス運営などを定期的に振り返り、園としての質の向上を目指していきたいと考えています。

子どもたちにとって何が必要か、保護者に何を伝えていきたいのか、話し合い考えていくことが、保育の質の向上と職員のやりがいに繋がることを期待します。できることをひとつずつ先延ばしにせず考え少しずつでも行動していきたいです。大変勉強になる機会をいただきましてありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり